

平成 1 4 年 1 月  
科学技術・学術政策局  
研究 振 興 局  
研究 開 発 局

平成 1 4 年 度

## 予 算 案 の 概 要

～科学技術創造立国の実現～

◎研究開発の戦略的かつ重点的推進

- ・未来を切り拓く基礎研究の推進
- ・戦略的重要分野の研究開発の重点的推進
- ・国の存立基盤となる研究開発の推進

◎競争的研究環境の整備と科学技術振興基盤の強化

◎新産業創出に向けた研究成果の展開

— 目 次 —

1. 平成14年度予算案主要事項	-----	1
2. 平成14年度予算案のポイント	-----	6

# 平成14年度予算案主要事項（科学技術・学術関係）

[備考欄（ ）書きは前年度予算額]

区 分	前年度 予算額	平成14年度 予定額	比較増 △減額	備 考
	百万円	百万円	百万円	
<b>科学技術創造立国の実現</b>				
<b>1. 研究開発の戦略的かつ重点的推進</b>				
I 未来を切り拓く 基礎研究の推進	61,311	63,021	1,710	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学共同利用機関等における独創的・先端的研究</li> <li>( 3,465)</li> <li>(1) 大型光学赤外線望遠鏡「すばる」計画の推進 3,393</li> <li>( 0)</li> <li>(2) 大型ミリ波サブミリ波干渉計に関する研究開 810</li> <li>発の推進</li> <li>( 785)</li> <li>(3) 大強度陽子加速器計画の推進 3,265</li> <li>(高エネルギー加速器研究機構)</li> <li>( 8,670)</li> <li>(4) Bファクトリー計画の推進 8,614</li> <li>( 1,886)</li> <li>(5) ニュートリノ研究の推進 1,826</li> <li>( 46,505)</li> <li>(6) 各分野における独創的・先端的研究の推進 45,113</li> </ul>
II 戦略的重要分野の 研究開発の重点的 推進	219,975	243,230	23,255	
(i) ライフサイエンス	56,052	71,732	15,680	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. タンパク質の構造・機能解析等ポストゲノム ( 33,398)</li> <li>研究の推進 48,902</li> <li>( 0)</li> <li>・タンパク3000プロジェクト(新規) 11,772</li> <li>( 0)</li> <li>・ナショナルバイオリソースプロジェクト 4,439</li> <li>(新規)</li> <li>( 0)</li> <li>・21世紀型革新的先端ライフサイエンス技術 4,330</li> <li>開発プロジェクト(新規)</li> <li>( 2,505)</li> <li>・遺伝子多型研究の推進 2,492</li> <li>( 4,174)</li> <li>・免疫・アレルギー研究の推進 5,282</li> </ul>

区 分	前 年 度 予 算 額	平成 14 年度 予 定 額	比 較 増 △ 減 額	備 考
	百万円	百万円	百万円	
(2) 情報通信	85,412	88,991	3,579	( 22,654) 2.脳研究やライフサイエンス基盤研究等の推進 22,830  ( 9,954) ・脳科学研究の推進 10,290  ( 0) 1.高度・高信頼情報通信システム(新規) 3,582 ・世界最先端IT国家実現重点研究開発プロジェクト  ( 24,214) 2.情報通信技術 23,231  ( 61,198) 3.研究開発基盤技術 62,178  ( 0) ・「eサイエンス」実現プロジェクト(新規) 1,991  ( 6,847) ・スーパーSINET構想の推進 7,203  ( 6,653) 1.地球変動予測研究の推進 7,190  ( 1,798) ・地球シミュレータ計画推進 2,157  ( 3,617) ・地球フロンティア研究システム 3,150  ( 49,542) 2.地球変動に関する観測の推進 45,934  ( 4,490) ・南極地域観測事業 4,546  ( 973) 3.環境対策技術に関する研究開発の推進 649  ( 0) 4.人・自然・地球共生プロジェクト(新規) 3,867  ( 0) 1.ナノテクノロジー総合支援プロジェクト(新規) 3,777  ( 21,343) 2.共通基盤技術開発の推進等 21,090 (物質・材料研究機構等による研究の推進)
(3) 環 境	57,168	57,640	472	
(4) ナノテクノロジー・材料	21,343	24,867	3,524	
Ⅲ 国の存立基盤となる研究開発の推進	606,086	571,151	△ 34,935	
(1) 航空・宇宙	198,705	191,307	△ 7,398	( 44,900) 1.航空・宇宙輸送システムの研究開発 48,270  ( 8,880) ・H-IIAロケットの開発 7,076  ( 33,467) 2.国際宇宙ステーション計画の推進 37,820

区 分	前年度 予算額	平成14年度 予定額	比較増 △減額	備 考
	百万円	百万円	百万円	
				3.人工衛星による地球観測の推進 (29,203) 20,580
				4.衛星通信・放送技術等の研究開発 (27,683) 24,257
				5.宇宙科学・天文学研究の推進 (27,246) 26,354
				6.先端・基盤技術の研究開発等 (36,206) 34,026
(2) 海洋	38,651	35,892	△ 2,759	1.海洋調査研究・技術開発等 (37,528) 34,675
				・深海地球ドリリング計画の推進 (7,624) 7,109
				・固体地球統合フロンティア研究システム (1,095) 1,568
				2.海洋資源の利用研究 (1,123) 1,217
				・極限環境生物フロンティア研究システム (796) 930
(3) 原子力	347,903	321,745	△ 26,158	1.安全確保対策等 (44,327) 42,306
				2.原子力に対する理解増進と立地地域との共生 (25,285) 26,174
				・原子力・エネルギーに関する教育支援 事業の推進 (0) 483
				3.核燃料サイクルに関する研究開発の推進 (127,130) 109,190
				・「もんじゅ」の研究開発に必要な経費 (10,571) 11,982
				4.先端的な原子力科学技術の推進 (133,133) 127,047
				・大強度陽子加速器計画の推進 (4,743) 10,868
				・核融合研究 (23,072) 14,666
				5.放射線利用の推進 (16,330) 15,600 (放射線医学総合研究所等による研究の推進)
				6.原子力研究開発の推進のための基盤整備 (1,698) 1,428
(4) 地震・火山噴火等の防災 対策	19,872	21,319	1,447	1.地震に関する調査観測と全国を概観した地震 動予測地図の作成 (2,269) 2,263
				・地震に関する重点的調査観測の推進 (0) 199

区 分	前年度 予算額	平成14年度 予定額	比較増 △減額	備 考
	百万円	百万円	百万円	
(5) 製造技術	955	888	△ 67	2.実大三次元震動破壊実験施設（E-ディフェ ンス）の整備 ( 5,674) 5,535 3.大都市大震災軽減化特別プロジェクト（新規） ( 0) 3,164 4.大学、防災科学技術研究所における地震・ 火山噴火研究等の推進 ( 11,929) 10,357 先端的ITによる技術情報統合化システムの構築等 ( 955) 888
<b>2. 競争的研究環境の整備と科学技術 振興基盤の強化</b>				
(1) 競争的資金の改革と拡充	255,897	265,589	9,692	1.科学研究費補助金 (157,965) 170,300 2.戦略的創造研究推進事業 ( 40,420) 42,689 3.科学技術振興調整費 ( 34,310) 36,500 4.産学官連携イノベーション創出事業 （革新的な技術開発の提案公募の改正） ( 4,500) 7,100 7.大学発ベンチャー創出支援制度（新規） ( 0) 1,823 4.独創的革新技術開発研究提案公募制度 ( 4,500) 5,277 5.未来開拓学術研究推進事業 ( 18,702) 9,000
(2) 大学等の施設の整備	164,103	199,984	35,881	1.国立大学等施設の重点的・計画的整備 (101,293) 146,378 2.研究開発法人等の施設整備 ( 62,810) 53,606
(3) 優れた研究者・技術者の 養成・確保	26,356	24,822	△ 1,534	1.優れた研究者の養成・確保 ( 25,726) 24,249 2.優れた技術者の養成・確保 ( 630) 573
(4) 科学技術・理科教育及び 科学技術理解増進活動の 推進	9,422	10,916	1,494	1.科学技術・理科大好きプラン （スーパーサイエンスハイスクールの創設等） ( 3,257) 5,656 2.国民の科学技術に対する理解の増進 ・日本科学未来館の整備・運営等 ( 6,165) 5,260

区 分	前年度 予算額	平成14年度 予定額	比較増 減額	備 考
(5) 研究開発基盤の整備	百万円 78,775	百万円 80,073	百万円 1,298	1.知的基盤の整備 ( 1,504) 5,008 2.大型放射光施設(SPring-8)の利用研究の推進 及び共用の促進 ( 16,073) 12,887 3.研究開発に関する情報化の促進【再掲】 ( 61,198) 62,178
<b>3. 新産業創出に向けた研究成果の展開</b>				
(1) 産学官連携の推進	150,495	187,963	37,468	1.技術移転機関の機能強化 ( 15,604) 17,957 ・研究成果最適移転事業(新規) ( 0) 6,243 ・独法成果活用事業(新規) ( 0) 1,060 2.大学発ベンチャー等の支援・育成 ( 4,500) 8,070 ・産学官連携イノベーション創出事業【再掲】 ( 4,500) 7,100 7.大学発ベンチャー創出支援制度(新規) ( 0) 1,823 4.独創的革新技術開発研究提案公募制度 ( 4,500) 5,277 ・産学官連携支援事業(新規) ( 0) 900 3.経済・社会ニーズに対応した共同研究等の 推進 (130,391) 161,936 ・産学・産官共同研究推進 ( 0) 【科学技術振興調整費の一部再掲】 2,800 ・産学連携等研究費 ( 76,593) 103,648
(2) 地域科学技術の振興	14,044	21,197	7,153	・地域の科学技術振興に資する研究開発の推進 ( 14,044) 21,197 地域産学官連携プログラム(新規) ( 0) 8,568 7.知的クラスター創成事業 ( 0) 6,000 4.中小都市エリア連携基盤整備事業 ( 0) 2,568



# 平成14年度予算案のポイント（科学技術・学術関係）

事 項	概 概	要						
<b>◇科学技術創造立国の実現◇</b>								
<b>1. 研究開発の戦略的かつ重点的推進</b>								
<b>I 未来を切り拓く基礎研究の推進</b>	○大学共同利用機関等における独創的・先端的研究							
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>13 予算</td> <td>14 予定</td> <td>差 引</td> </tr> <tr> <td>61,311 百万円</td> <td>63,021 百万円</td> <td>1,710 百万円</td> </tr> </table> <p>○概要 天文学、加速器科学等大学共同利用機関、大学附置研究所等を中心として行われる独創的・先端的研究の成果は、現在、欧米諸国としのぎを削っており、引き続き、その推進を図る。 さらに、着手2年目となる大強度陽子加速器計画（高エネルギー加速器研究機構）の推進、大型ミリ波サブミリ波干渉計の研究開発（国立天文台）を行う。</p>			13 予算	14 予定	差 引	61,311 百万円	63,021 百万円	1,710 百万円
13 予算	14 予定	差 引						
61,311 百万円	63,021 百万円	1,710 百万円						
<b>II 戦略的重要分野の研究開発の重点的推進</b>								
<b>(1) ライフサイエンス</b>	○ゲノム創薬等の革新的な成果を目指したポストゲノム研究の戦略的推進							
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>13 予算</td> <td>14 予定</td> <td>差 引</td> </tr> <tr> <td>56,052 百万円</td> <td>71,732 百万円</td> <td>15,680 百万円</td> </tr> </table> <p>○概要 我が国の研究機関のポテンシャルを最大限活用し、ポストゲノム研究を推進する。特にタンパク質3000種の構造・機能解析、バイオリソースの整備、再生医療の実現等の21世紀型革新的先端ライフサイエンス技術開発プロジェクトを強力に推進する。 脳科学研究等について、所期の目的達成のため、引き続き研究の推進を図る。 また、研究者の自主性を重視した先端的・独創的な研究を推進するため、大学等研究体制を重点的に整備するとともに、基盤的施設の整備・充実を図る。</p>			13 予算	14 予定	差 引	56,052 百万円	71,732 百万円	15,680 百万円
13 予算	14 予定	差 引						
56,052 百万円	71,732 百万円	15,680 百万円						
<b>(2) 情報通信</b>	○先端的な情報科学技術の研究開発等の推進							
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>13 予算</td> <td>14 予定</td> <td>差 引</td> </tr> <tr> <td>85,412 百万円</td> <td>88,991 百万円</td> <td>3,579 百万円</td> </tr> </table> <p>○概要 ネットワークがすみずみまで行き渡った社会への対応と世界市場の創造に向けた「高速・高信頼情報通信システム」の構築、次世代のブレイクスルー、新産業の種となる情報通信技術の研究開発、ITBLやスーパーSINETなど、研究開発基盤技術の開発を行う。</p>			13 予算	14 予定	差 引	85,412 百万円	88,991 百万円	3,579 百万円
13 予算	14 予定	差 引						
85,412 百万円	88,991 百万円	3,579 百万円						



事 項	概 要						
(3) 環境	<p>○地球変動現象の解明を目指した観測・予測研究の総合的推進</p> <table border="1" data-bbox="474 357 1099 466"> <thead> <tr> <th>13 予算</th> <th>14 予定</th> <th>差 引</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>57,168 百万円</td> <td>57,640 百万円</td> <td>472 百万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○概要 地球温暖化、オゾン層破壊、異常気象等の諸現象解明に向け、各試験研究機関及び大学共同利用機関等が連携して、観測から予測・解明までが有機的・体系的に結びついた研究開発を推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球変動予測研究の推進：統合モデルの研究開発、地球シミュレータ計画推進</li> <li>・地球変動に関する観測の推進：海洋観測、人工衛星等による地球観測、極地観測等</li> <li>・環境対策技術に関する研究開発の推進：生分解プラスチックの研究等</li> <li>・人・自然・地球共生プロジェクト：産学官のポテンシャルを結集し、温暖化予測「日本モデル」の構築等</li> </ul>	13 予算	14 予定	差 引	57,168 百万円	57,640 百万円	472 百万円
13 予算	14 予定	差 引					
57,168 百万円	57,640 百万円	472 百万円					
(4) ナノテクノロジー・材料	<p>○ナノテクノロジーの活用による実用化・産業化を展望した挑戦的な研究への取組み</p> <table border="1" data-bbox="474 932 1099 1040"> <thead> <tr> <th>13 予算</th> <th>14 予定</th> <th>差 引</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21,343 百万円</td> <td>24,867 百万円</td> <td>3,524 百万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○概要</p> <p>【ナノテクノロジー】 本領域の研究者の情報交換等による連携を高めるとともに、高度な技術や大型・特殊な装置を要する研究を技術的に支援するため、ナノテクノロジー総合支援プロジェクトを創設。 分野間を通じて共通的なニーズが見込まれる共通基盤技術の開発を推進。</p> <p>【物質・材料】 エネルギー・環境用物質・材料及び安全空間創成材料等の研究開発を推進。</p>	13 予算	14 予定	差 引	21,343 百万円	24,867 百万円	3,524 百万円
13 予算	14 予定	差 引					
21,343 百万円	24,867 百万円	3,524 百万円					
<p>Ⅲ 国の存立基盤となる研究開発の推進</p> <p>(1) 航空・宇宙</p>	<table border="1" data-bbox="474 1598 1099 1706"> <thead> <tr> <th>13 予算</th> <th>14 予定</th> <th>差 引</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>198,705 百万円</td> <td>191,307 百万円</td> <td>△ 7,398 百万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○概要 人類の知的資産の蓄積、社会経済基盤の拡充、新産業の創出につながる以下の研究開発を推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の次期主力ロケットであるH-Aロケットの開発</li> <li>・インターネット衛星等による衛星通信・放送技術等の研究開発</li> <li>・環境観測技術衛星等による地球観測の推進</li> <li>・小惑星探査機等による宇宙科学・「すばる」等による天文学研究の推進</li> <li>・国際宇宙ステーション計画等宇宙環境利用の総合的推進</li> <li>・経済性、環境適合性に優れた次世代超音速機に関する研究</li> <li>・宇宙3機関統合に向けた連携・協力の推進</li> </ul>	13 予算	14 予定	差 引	198,705 百万円	191,307 百万円	△ 7,398 百万円
13 予算	14 予定	差 引					
198,705 百万円	191,307 百万円	△ 7,398 百万円					

事 項	概 要								
(2) 海洋	<table border="1" data-bbox="474 296 1099 401"> <thead> <tr> <th>13 予算</th> <th>14 予定</th> <th>差 引</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>38,651 百万円</td> <td>35,892 百万円</td> <td>△ 2,759 百万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○概要 地表の7割を占める海洋を知ることが地球全体への理解につながるため、広範な海域、未知の領域について調査を行うとともに、有害化学物質対策への利用を目指して海洋・極限環境の有用資源の研究を推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海洋調査研究・技術開発等：深海地球ドリリング計画推進等</li> <li>・海洋資源の利用研究：深海、地殻内等、極限環境に生息する生物の機能解明等</li> </ul>			13 予算	14 予定	差 引	38,651 百万円	35,892 百万円	△ 2,759 百万円
13 予算	14 予定	差 引							
38,651 百万円	35,892 百万円	△ 2,759 百万円							
(3) 原子力	<table border="1" data-bbox="474 816 1099 942"> <thead> <tr> <th>13 予算</th> <th>14 予定</th> <th>差 引</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>347,903 百万円</td> <td>321,745 百万円</td> <td>△ 26,158 百万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○概要 供給安定性、環境保全面で優れた原子力の研究開発を安全確保を前提に立地地域との共生を図りながら推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原子力の安全確保・防災対策及び保障措置の着実な実施：六ヶ所保障措置分析所の整備等</li> <li>・原子力に対する理解増進と立地地域との共生：立地地域が取り組む原子力やエネルギーに関する教育の支援等</li> <li>・核燃料サイクルに関する研究開発の推進：「もんじゅ」のナトリウム漏洩対策等にかかる改造工事、産学官の連携による高速増殖炉サイクル技術開発等</li> <li>・先端的な原子力科学技術の推進：ITER 計画等の核融合研究開発、大強度陽子加速器計画、産学官の連携による革新的原子炉研究開発等</li> <li>・放射線利用の推進：医療、工業、農業等の幅広い分野での放射線利用研究開発</li> </ul>			13 予算	14 予定	差 引	347,903 百万円	321,745 百万円	△ 26,158 百万円
13 予算	14 予定	差 引							
347,903 百万円	321,745 百万円	△ 26,158 百万円							
(4) 地震・火山噴火等の 防災対策	<table border="1" data-bbox="474 1551 1099 1656"> <thead> <tr> <th>13 予算</th> <th>14 予定</th> <th>差 引</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19,872 百万円</td> <td>21,319 百万円</td> <td>1,447 百万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○概要 自然災害に強い社会を目指すため、防災対策に関する以下の研究開発を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活断層等の調査・評価と全国を概観した地震動予測地図の作成、地震に関する重点的調査観測、富士山観測研究等の推進</li> <li>・実大三次元震動破壊実験施設（Eーディフェンス）の整備</li> <li>・大都市大震災軽減化特別プロジェクト（地震災害に負けない都市への再生）大都市圏における地震動予測、都市構造物の耐震性向上、被災者救助等の災害対応戦略に関する研究開発を総合的に推進し、地震防災対策に関する科学的技術的基盤を確立する</li> </ul>			13 予算	14 予定	差 引	19,872 百万円	21,319 百万円	1,447 百万円
13 予算	14 予定	差 引							
19,872 百万円	21,319 百万円	1,447 百万円							

事	項	概	要
---	---	---	---

**2. 競争的研究環境の整備と科学技術振興基盤の強化**

**(1) 競争的資金の改革と拡充**

区 分	13 予算	14 予定	差 引
科学研究費補助金	157,965 百万円	170,300 百万円	12,335 百万円
戦略的創造研究推進事業	40,420 百万円	42,689 百万円	2,269 百万円
科学技術振興調整費	34,310 百万円	36,500 百万円	2,190 百万円
産学官連携イノベーション創出事業	4,500 百万円	7,100 百万円	2,600 百万円

○概要 科学技術基本計画の方針に沿い、競争的研究開発環境を形成する競争的資金の目的・役割の明確化等の改革、特に、若手対象制度の拡充、革新的なアイデアの創成から研究成果の企業化推進まで一貫した取組みを行う等による改革を行うとともに、倍増に向け拡充する。  
これにより、科学技術創造立国と、知的資産倍増を目指した経済社会の構造改革を実現する。

**(2) 大学等の施設の整備**

○国立大学等施設の重点的・計画的整備

13 予算	14 予定	差 引
101,293 百万円	146,378 百万円	45,085 百万円

○概要 世界水準の教育研究成果の確保を図るため、科学技術基本計画を受け策定された「国立大学等施設緊急整備5か年計画」に基づき、施設の重点的・計画的整備を推進するものである。  
 ・大学院充実等に伴う大学院施設の狭隘解消等  
 ・卓越した研究拠点等  
 ・先端医療に対応した大学附属病院  
 ・老朽化した施設の改善整備  
 ※新たな整備手法（PFI事業）を導入  
 （参考）「中央官庁施設のPFIによる整備」  
 文部科学省庁舎の整備に向けた調査の実施

**(3) 優れた研究者・技術者の養成・確保**

13 予算	14 予定	差 引
26,356 百万円	24,822 百万円	△ 1,534 百万円

○概要 優れた若手研究者等が研究に専念できる環境を整備することは、若手研究者等の研究能力の涵養とともに、我が国の研究活動の活性化を図るために極めて重要である。このため、各種の若手研究者等の支援制度の充実等を行う。また、技術者の能力開発・再教育のための情報提供等を行う。

事	項	概	要
---	---	---	---

(4) 科学技術・理科教育及び科学技術理解増進活動の推進

○科学技術・理科大好きプラン

13 予算	14 予定	差 引
3,257 百万円	5,656 百万円	2,399 百万円

○概要 我が国の次代を担う青少年、特に科学技術分野を志向する者を対象に、科学技術・理科に対する学習意欲の増進を図るとともに、知的好奇心や探究心を高めるための学習機会を提供。

- ・「スーパーサイエンスハイスクール」における先進的な科学技術・理科教育の実施
- ・大学、学協会、研究機関等と教育現場との連携の推進
- ・先進的科学技術・理科教育用デジタル教材の開発
- ・産業技術史資料情報の教育現場等への提供

### 3. 新産業創出に向けた研究成果の展開

(1) 産学官連携の推進

13 予算	14 予定	差 引
150,495 百万円	187,963 百万円	37,468 百万円

○概要 産学官の連携の強化により、大学等の優れた研究成果を基にした独創的な新技術やベンチャー企業の創出を図る。

- ・研究成果の特許化から技術の育成、企業への移転までの一貫した技術移転制度を創設
- ・大学発ベンチャー創出を支援するための助成制度を創設
- ・国立大学共同研究センター等への産学連携コーディネーター等専門家の派遣
- ・産学官による共同研究を促進するためのマッチングファンド制度の創設
- ・民間の有する革新性の高い技術等のシーズを公募し、大学の持つポテンシャルも活用してより革新的かつ実用的な技術へ育成するための助成制度を創出

(2) 地域科学技術の振興

○地域の科学技術振興に資する研究開発の推進

13 予算	14 予定	差 引
14,044 百万円	21,197 百万円	7,153 百万円

○概要 大学等公的研究機関を核として、極めてポテンシャルの高い地域を選定し、知的クラスターの創成を図るとともに、中小都市エリアに着目し、自治体の主体性、地域の個性発揮を重視した地域産学関連携基盤の整備を支援することにより地域経済の活性化を図る。

- ・大学等の公的研究機関を核とした「日本版シリコンバレー」の創設を促進
- ・個性発揮を重視した中小都市レベルでの産学官連携体制整備の支援
- ・研究コーディネータの派遣等による地域における産学官の研究交流の促進、研究成果育成
- ・産学官連携事業等を通じ、地域に蓄積された研究成果について、企業化に向けた成果の育成を強力に支援
- ・地域C O Eの形成を目指す大型の共同研究の実施
- ・「研究成果活用プラザ」を活用した地域の技術移転等の促進